

一般社団法人日本カウンセリング学会が認定する
「カウンセリング心理士」になるための基礎資格

カウンセリング心理士養成講座

8月10、11、17日
対面で体感する理論

7月～9月
理論編はオンデマンドで



カウンセリング心理士養成講座では、
カウンセリングの「技」と「姿勢」と「能力」が学べます。

カウンセリングとは

カウンセラーがクライアントをエンパワーして、クライアントが自ら問題解決に向かい、充実した社会生活（学校生活、就労生活、家庭生活、地域社会生活）を送れるように支援することです。

カウンセリングの「技」「姿勢」「能力」とは

すべての対話による心理療法に必要な基本です。どっしりと安定して、援助を求めることと向き合い、絶えず不安をやわらげ、こころを自由にさせ、笑顔と希望を抱いて主体的に歩む勇気を与える力です。

主催：NPO法人元気プログラム作成委員会

カウンセリング研修センター学舎ブレイブ

東京都小金井市本町2-20-18-102 電話042-207-6885

カウンセリング心理士とは一本講座から、カウンセリング心理士資格を取得した方々が巣立っています。

「カウンセリング心理士（旧称：認定カウンセラー）」は、一般社団法人日本カウンセリング学会が認定するカウンセラーのことです。日本カウンセリング学会は、カウンセリングを通して、国民の教育、健康、福祉の向上に貢献し、あわせてカウンセリングの研究と実践の進歩と発展に資するため、昭和61年(1986年)から「認定カウンセラー」の認定業務を行ってきました。

2021年から、「認定カウンセラー」は、「カウンセリング心理士」に名称を改め、同時に、時代に即応したカウンセリング心理士養成の新カリキュラムに改訂し、カウンセリング心理士養成を開始しています。

カウンセリング心理士の基礎資格として、(一社)日本カウンセリング学会の正会員となることが求められています。早めに受験を希望される方は、学会員になられることをお勧めします。カウンセリング心理士養成講座の講師2名が入会される方の推薦を行えますので、ご相談ください。

なお、単科受講でも、カウンセリング心理士資格の更新ポイントとして生かすことができます。カウンセリング心理士の資格取得試験が本格的に開始されるのは数年後です。その間は、本講座の受講は、旧認定カウンセラーの資格試験の受験資格への読み替えが可能です。

なお、国家資格、公認心理師を取得されている方の場合、数年後に始まるカウンセリング心理士用の養成カリキュラムに沿った筆記検査の受験が求められる方向で準備が進められています。また、口述審査では、スーパーバイザー体験4回分のスーパーバイザー所見と4回分の事例が口述試験で求められることが定まっています。

2025年度カウンセリング心理士養成講座の特長と特別受講料について

対面形式について

基本的に対面方式を本講座で行うのは、カウンセリング心理士養成カリキュラム（新カリキュラム）の3つの内容が含まれます。「①演習」「②グループ体験」「③事例研究」です。必修の「①演習」「②グループ体験」は各15時間あり、合計30時間を演習編で提供します。「③事例研究」は5時間をご提供します。

❖「**演習」「ロールプレイング編**」の形態：対面とライブ同時配信（ハイブリッド）でライブで行います。オンデマンド配信はありません。

❖「**③事例研究**」について：本法人は、月に2回の頻度で、原則、土曜日午後7時～各回2時間半の「事例検討会」をライブ配信で行っています。事例の守秘のために、オンデマンド配信はありません。

養成講座受講生と過去に本講座の受講をされた方は、これに参加できます。E領域の実習として、この時間にスーパービジョンを受ける機会を得られます。心理士の口述審査では、4回のスーパーバイザー体験が求められます。そのスーパービジョン体験に参加されると、D領域「グループスーパービジョン」を受講されたものと見なします。講座で自身のスーパービジョンが行われない回に「事例研究」へ参加すると、D領域「③事例研究」への参加と見なすことができます。これにより、15時間以上の研修の機会が確保されます。

理論編での対面形式（今回の提供です）

❖**理論編の内容**：A領域「カウンセリング心理学35時間」、B領域「アセスメント20時間」、C領域「研究法15時間」は、原則、オンデマンドのみで提供します。

❖**オンデマンド配信について**：理論編の多くはオンデマンド配信しています。順次募集中です。

・**提供期間**：10回分25時間を約3か月間提供いたします。

・**提供間隔**：2か月に1度程度で新たな募集があります。

❖**理論編での対面方式：今回の提供**

しかし、「フォーカシング」「マインドフルネス」などのカウンセリングの最新技法や「**心理アセスメント**」の**発達検査**や**発達障害体験**や具体例を示しての「**発達障害アセスメント**」は、ワークショップなどの体験をしないと本物の学びが難しいものがあります。**今回の本講座は、対面による（ワークショップ形式など）が、より技量の習得に効果的と思われる内容を用意しました。**

【対面形式の申込】4頁目に今回の対面方式の申込用紙があります。ご活用ください。料金体系もご確認ください。

【講座内容】2025年度の講座は、カウンセリング心理士養成カリキュラム（新カリキュラム）に則った内容になります。

旧カリキュラムへの読み替えが可能なものは、案内詳細には2段で併記しています。

【特別受講料】これまでに学ばれた方のためのリカレント学習と学会ブレイブ会員のためのものです。

初めて受講する方の4割（60%OFF）、会員は半額となります。この機会をお見逃しなく！

対面受講会場	カウンセリング研修センター学舎ブレイブ 東京都小金井市本町2-20-18-102 電話042-207-6885
オンライン受講	手続き終了後、事務局からZoomのIDが届きます。

NPO 法人元気プログラム作成委員会主催のカウンセリング心理士養成講座で得られる資格

一般社団法人日本カウンセリング学会が定めるカウンセリング心理士養成カリキュラムのほとんどすべてと、F領域の③を担当します。

以下の「適用する領域」に、それぞれの講座がどの領域に対応するかを記載しておりますので、ご確認ください。

なお、本講座受講者は受講後レポート提出が必須となり、未提出の場合は単位の振替ができませんので、ご注意ください。

一般社団法人日本カウンセリング学会が定める「カウンセリング心理士養成カリキュラム」

I 一般会員対象（合計 210 時間（14 単位）以上）

ここに挙げた時間数（単位数）は本学会が各地で行なっている「カウンセリング研修会」や大学学部などで取得した単位である。教育委員会や民間機関などにおけるカウンセリング研修は、資格認定委員会で講師・研修時間・研修内容などを検討の上、適切な場合には振替えを認めることとする。

※印の科目（内容）は必修科目である。ただし、研修内容が各領域の内容に合致していれば、科目名は異なっても差し支えない。

※印以外の科目（内容）は、ここに挙げられている科目（内容）以外でも、A～E の各領域に含まれるものであれば認められる。

A カウンセリング心理学（45 時間（3 単位））

①～⑤は必修。

（1）研修科目（例）

- ※① カウンセリングの理論と実際 20 時間
- ※② 来談者中心のアプローチ 2.5 時間
- ※③ 認知行動的アプローチ 2.5 時間
- ※④ 精神分析的アプローチ 2.5 時間
- ※⑤ システムズ・アプローチ（家族カウンセリング） 2.5 時間
- ⑥ 現代のカウンセリング理論・技法 15 時間

B カウンセリング・アセスメント（30 時間（2 単位））

（1）研修科目（例）

- ※① 心理アセスメント概論 5 時間
- ※② 心理アセスメントの理論と実際（ケースフォーミュレーション） 10 時間
- ※③ 心理検査の理論と実際 5 時間
- ※④ 発達障害アセスメント 5 時間
- ※⑤ 精神医学・心身医学アセスメント 5 時間

C カウンセリング研究法（15 時間（1 単位））

（1）研修科目（例）

- ① カウンセリング研究法の理論と実際 5 時間
- ② 量的研究の理論と実際 5 時間
- ③ 質的研究の理論と実際 5 時間

D カウンセリング演習（45 時間（3 単位））

演習とは、研修会や授業などでカウンセラーになるために行う体験学習（ロールプレイングなど）をいう。

①・②は必修、各 15 時間以上履修すること。

（1）研修科目（例）

- ※① カウンセリング演習
- ※② グループ体験
- ③ 事例研究

E カウンセリング実習（60 時間（4 単位））

実習とは、カウンセリング面接やグループ体験などの実際の場面でカウンセラーやファシリテーターとして活動した体験をいう。研修科目の①～③は選択必修。本学会が定めるスーパーバイザーや本学会が認めるスーパーバイザーから内容のあるスーパーバイジョンを 4 回以上受けること。事例の概要とスーパーバイザーの意見書を添えて申請時に提出すること。なお、時間数にはスーパーバイジョンを受けた時間だけでなく、カウンセリングやグループに関する準備・実施の時間を含む。

4 回分を提出すれば 60 時間実施したとみなされる。

（1）研修科目（例）

- ① スーパーバイジョン
- ② グループ・スーパーバイジョン
- ③ カウンセリング実習

F カウンセリング諸領域（15 時間（1 単位））

①～⑥は選択必修。

（1）研修科目（例）（公認心理師科目にも対応）

- ①保健医療分野のカウンセリング
- ②福祉分野のカウンセリング
- ③教育分野のカウンセリング
- ④司法・犯罪分野のカウンセリング
- ⑤産業・労働分野のカウンセリング
- ⑥コミュニティ・カウンセリング

講 師 小林正幸 理事長

東京学芸大学名誉教授 専門：教育臨床心理学
公認心理師・臨床心理士・学校心理士・カウンセリング心理士・認定スーパーバイザー
・日本カウンセリング学会副理事長・学校メンタルヘルス学会評議員・EMDR学会理事



講 師 早川恵子 理事

都留文科大学講師
カウンセリング研修センター学舎ブレイブ 室長
公認心理師・臨床発達心理士・学校心理士
イダンスカウンセラー・カウンセリング心理士
学校メンタルヘルス学会評議員



申し込みから受講までの流れ

申込用紙に必要事項を記入 ➡ 郵送またはFAX ➡ 振込用紙が届きます ➡ 受講料振込 ➡ 教材・受講証が届きます ➡ 受講日に受講

申込用紙郵送先 〒184-0004 東京都小金井市本町2-20-18-102 FAX: 042-207-6885 メール: brave@genpuro.org

2025年度 カウンセリング心理士養成講座 申込書									
氏名	ふりがな		性別		年齢	生年月日		本講座受講体験	
						() 才		有	
住所			電話番号		メールアドレス		無		
参加を希望される講座番号の横の空欄またはオンラインいずれかに○をつけてください。									
記入例 ↓								対面受講	オンライン受講
A07	○	キャリア・カウンセリングの理論	A領域①	小林正幸	6月5日	日曜日	10時から12時半	¥15,000	○ ¥11,000
参加を希望される講座番号の横の空欄に○をつけてください。									
第一期講座								対面受講	オンライン受講
単科受講希望	内容		適用する領域	講師	日程		時間	単科受講費	単科受講費
A01		心理検査の理論と実際 1	B③ B②	早川恵子	8月10日	日曜日	10:00~ 12:30	¥15,000	¥10,000
A02		心理検査の理論と実際 2	B③ B②	早川恵子	8月/10日	日曜日	13:30~ 16:00	¥15,000	¥10,000
A03		発達障害アセスメント 1	B④ B④	早川恵子	8月/11日	月曜日	10:00~ 12:30	¥15,000	¥10,000
A04		発達障害アセスメント 2	B④ B④	早川恵子	8月/11日	月曜日	13:30~ 16:00	¥15,000	¥10,000
A05		現代のカウンセリング技法 フォーカシング	A⑥ A⑤	小林正幸	8月/17日	日曜日	10:00~ 12:30	¥15,000	¥10,000
A06		現代のカウンセリング技法 マインドフルネス	A⑥ —	小林正幸	8月17日	日曜日	13:30~ 16:00	¥15,000	¥10,000
総合受講希望		上記すべての講座を受講します。						受講料	受講料
E100								¥72,000	¥48,000
注) 領域の下段にあるものは、旧カリキュラムの分類です。									
講座申し込み方法 上記申込書に必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法で事務局までお送りください。 申込書送付先 カウンセリング研修センター学舎ブレイブ 郵送の場合 : 〒184-0002 東京都小金井市本町2-20-18-102 ファックスの場合 : 042-207-6885 メールの場合 : brave@genpuro.org 申し込みが確認でき次第、受講料振込手続きのご案内などを郵送いたします。 お問い合わせ先: カウンセリング研修センター学舎ブレイブ 042-207-6885 または brave@genpuro.org									

【通常受講】

▼総合受講（6回）・対面受講 72,000円 ・遠隔受講 48,000円
(各回12,000円相当) (各回 8,000円相当)

▼単価受講 ・対面受講 15,000円 ・遠隔受講10,000円

【特別受講料】＊リカレント学習用

▼総合受講（6回） ・対面受講 28,800円 ・遠隔受講 19,200円

▼単科受講 ・対面受講 6,000円 ・遠隔受講 4,000円

【会員受講料】学舎ブレイブの正会員の場合

▼総合受講（6回） ・対面受講 36,000円 ・遠隔受講 24,000円

▼単科受講 ・対面受講 7,500円 ・遠隔受講 5,000円

受講希望を形式を○で囲み、単科受講の場合は、受講回数、合計金額をご記入ください。

受講回数_____回 合計受講料 _____円